

アンタは

フタジの

おちんちん

おっぱい

も見やないよ!!

を見たんだぞ

祭十郎

R18

成人向け



第一話

アタシのおっぱいを見たんだから

アソタはおちんちんを見せなさいよ！

美術部のヤロー！

ポスターカラーを
投げて遊びやがって



ああもう
ブラにまで
絵の具が…

上はジャージに
着替えるしか
ないかあ…

ガラッ

!?



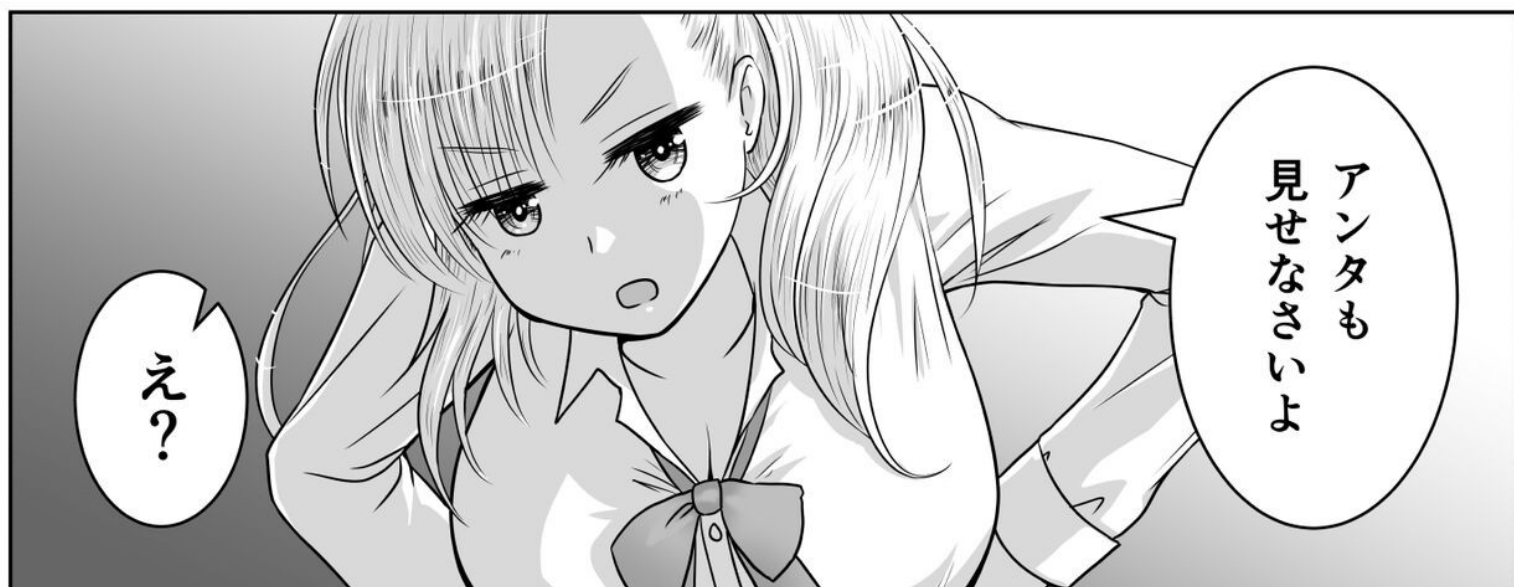
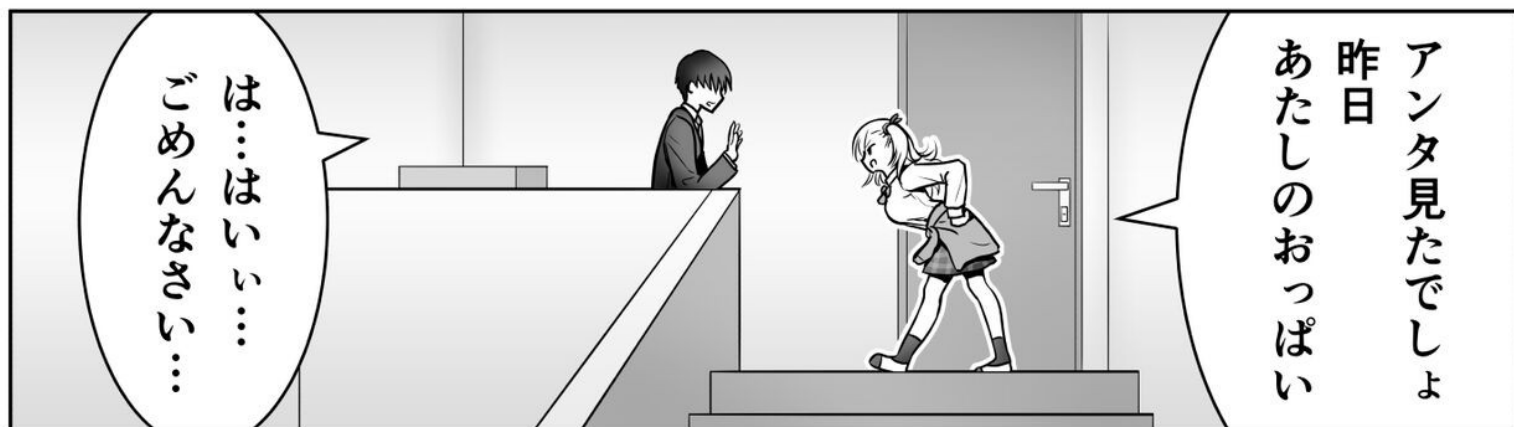
わ…忘れ物を…

クラスのギャルの
おっぱいを見てしまった



クラスの男子に
おっぱいを見られた





アタシのおっぱいを
見たんだから

アンタは
おちんちんを
見せなさいよ！

ええええ…

こ…
こうですか？

おと

ううん
違う

もっと
大きく
なったやつ

それは
ここでは…

家でエッチな
気分になった時
とかじゃないと

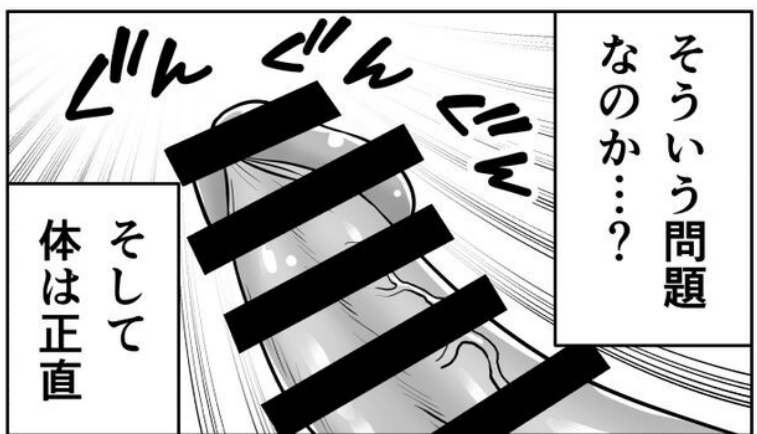
ふーん

じゃあ放課後
アンタの家に行くから

決まり！

ええっ？！

放課後の自宅



ねえねえ
もっと近くで
見たい

もっと
見ていい？

ゆっさ
ゆっさ

い...いいけど
こっちこそいいの？

おっぱいの
眺めが最高
過ぎる！

ヤッバ！

うっわ！

ビクビク

じい

こんなに
勃つんだ

はあっ？！

ムキッ

アタシも
しこしこ
していい？



思ったより
やわらかい

あつ
ちよつ

こうかな？

しこ
しこ

痛っ
爪が…！



あ
ごめん

結構
デリケート
なんだね

なで
なで

ち…力加減
自体は…
さっきので…

ふうん…



うっ

そこはっ

おう

ん！

しゅ
しゅ

おお
うふ！！



キヤハハ！！

変な声
出しちゃって
ウケる！

にゅ
にゅ

あああ！！

短時間で
上達し過ぎ！

おちんちんいじるの
楽しくなってきた！

アンタの反応が
カワイイ！

き…気持ちいいよ
西城さん…!!

あうふ

おおう

ヤダー
西城さんとか
カタいなあ

ルルミで
いいって

ブルン
ブルン

ちよっ—
あの…

にゅにゅ

そろそろ
限界が…!!

ル…ルルミさん！

にゅにゅ



ん?
限界って?

.....

トロトロ

ヒュッ

ああ..
気持ちいい..

ジュッ

こういう
ことです..

すみません..

メチャクチャ
気持ちよかったです
ルルミさん..

えっ…と…

これ全部
おちんちんから出たの？

はい…

結構汚れるね

そ…そうですね…

着替え持って
ないんだけど

僕の服で
よければ…

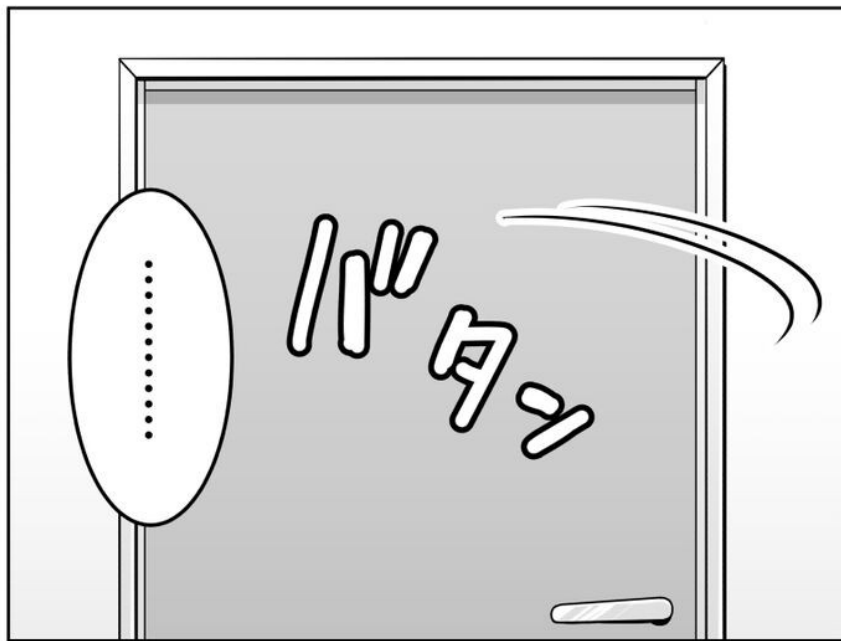
うん
貸してもらえる？
悪いけど

いやルミさんは
悪くないです！

アタシが
したせい
でしょ？

それは
まあ…







おちんちんおもしろかった

19:09



また遊びに行く

19:09

既読
19:12

いいけど...



あなたはおちんちん
を見せなさいよ!

アタシのおっ
ぱい
を見たんだから

第二話

じゃあそろそろ

おちんちんで遊ぼうか

あれから
数日が経った

ルルミさんとの間には
特に何もない

おっはよう！

見かけると
挨拶してくる
ようにはなった

あ…
おはよう

ポ
ニッ

でもその程度

彼女は
相変わらず
高嶺の花で

こちらから
声をかける
勇気は出ない

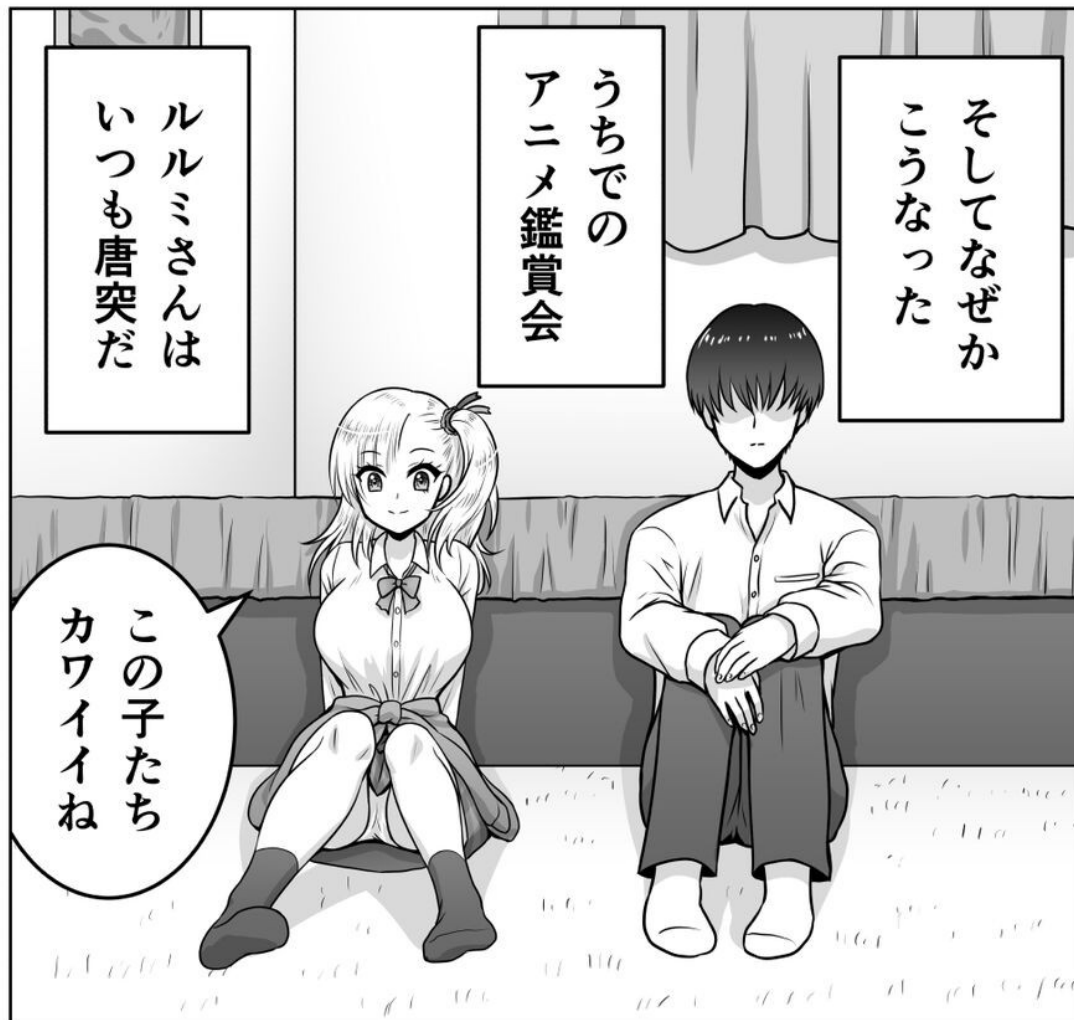
あの西城留流美が
僕の部屋に来て

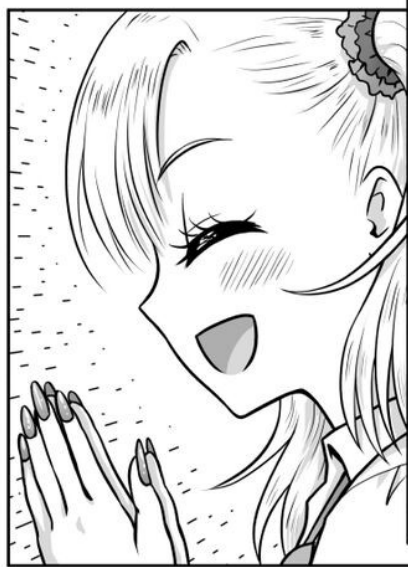
僕のちんこを
しごいていったなんて
今でも信じられない

「また遊びに行く」というのは
ただの社交辞令だったのか

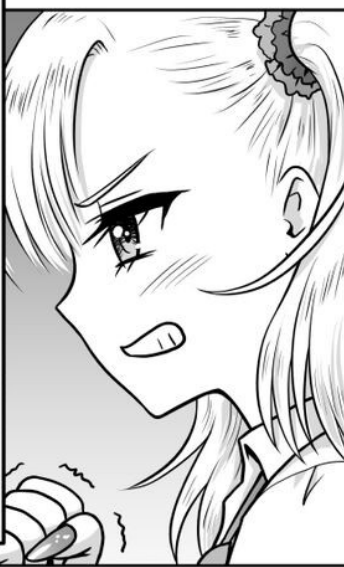
ド
サッ

ねーねー

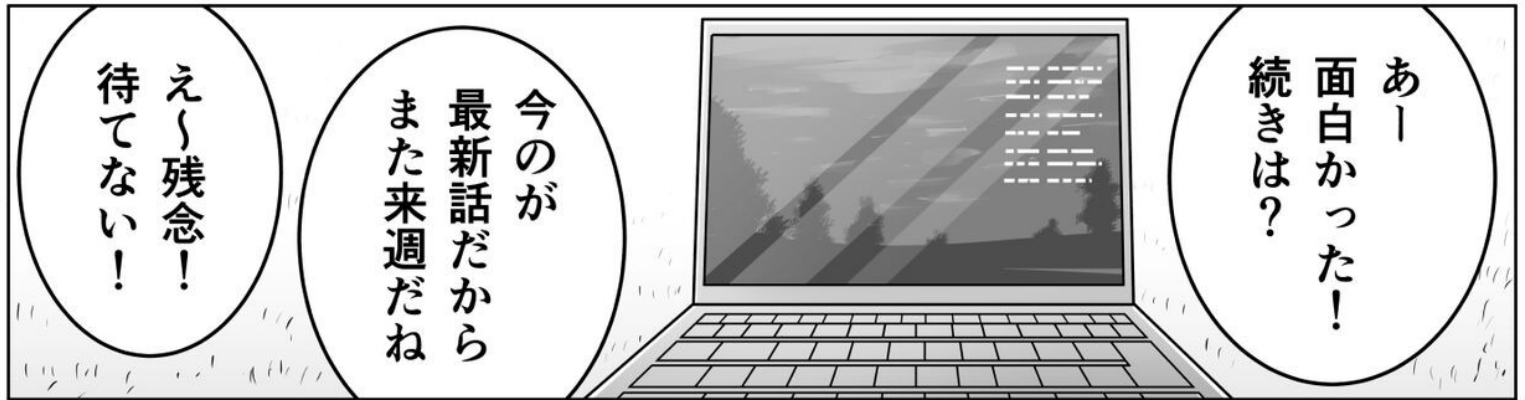
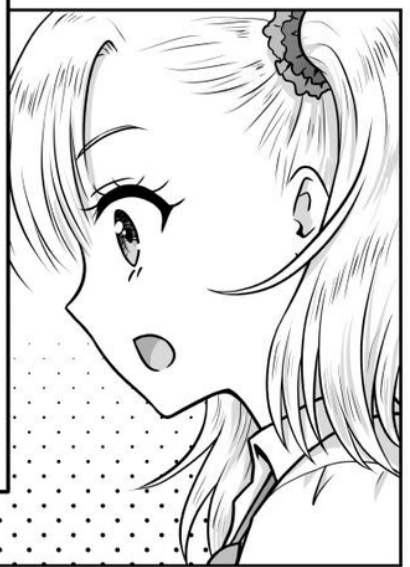




感情がはつきり
出るからわかりやすい



ルルミさんは
素直に楽しんでた



あー
面白かった！
続きは？

今のが
最新話だから
また来週だね

えー残念！
待てない！



じゃあそろそろ
おちんちんで遊ぼっか

なんで!?

えへへ…

実はアンタのおちんちんが忘れられなくてさ

でもさすがにこの前はやり過ぎたかなーって…

嫌だった？

い…嫌ではないです！

じゃあまた遊ぼう！

アタシはおっぱい見せてあげるから

ほらね？

ポロッ

!?

ノーブラで準備万端…

パ…パイズリってお願いできる？

欲望が刺激されて

つい…

ん？
何それ？



む…胸で挟んで
もらうんだ

ふーん
いいよ

おっぱいで
おちんちんを
挟めばいいのね



凄い…
埋まっていく…

すべすべの肌に…

柔らかくて
張りのある
最高のおっぱいに…



うおっ！
気持ちいい！

でかいから
こんな角度で
入っちゃう…

おちんちんだあ♪

むっち

むっち

あうっ

おうっ

むっち

アタシも
自分で動かしたいな

これどう？

気持ちいい？

むにゅ

うおあつ！

す…すごく
いいです！

むにゅ
むにゅ

んっしょ
んっしょ

ずーり

ああ凄い！
凄いです
ルルミさん！

ずーり

なんて極上の
パイ圧なんだ！

えへへ
その顔

アンタの反応
本当カワイイ

むにゅ



ああ凄い…
この眺め…

ルルミさんの
胸を犯してるようだ…

おっぱいで感じる
おちんちん面白い！

ちょっと
気持ちいい！

ルルミさん！
僕…もう…！

出ちゃう？
いいよ遠慮しないで
いっぱい出して

フツキ

にゅぷ

フツキ

にゅぷ

ああ出る！
出ます！

んっ！

気持ちいい〜!!!

最高の
おっぱいの中で
最高の射精

えへへ…
またいつぱい
出たね

ハア…

ハア…

ハア…

はい…
最高でした…

アンタも
喜んでくれて
良かった

ハア…

ルルミさん…



また夢のような
時間を過ごしてしまった

フキ
フキ

ルルミさんは
なんでここまで…

じゃあそろそろ
帰るね

うん…

ゴソ

ゴソ

チラッ

……

!?

ちゅっ♡

アタシ…

アンタのこと
結構気に入って
るんだよね

また
遊ぼう？

は…はい！

僕はすっかり

ルルミさんに
心奪われていた

あなたはお
おちんちん
を見せなさいよ!

アタシの
おっ
ぱい
を見たんだから

第三話

アタシたちって…

もう付き合っていない？

ルルミさんは
学校でも
よく話しかけて
くるようになった

ねーねー
これ見て
これ知ってる？

ちよつと距離感が
近すぎる気はするけど

最近ルルミとあいつ
仲いいよな

なーんか
意外

あの二人
付き合ってる
のかな？

まさかー

僕も不思議だ

二人の関係を
なんて呼べばいいんだろう

放課後の
自宅には――

当たり前のように
ルルミさんが居て
一緒にアニメを
見ている

えー！
ここで
終わり？

来週で
最終回だね



え…？



ところどころ

来た！ また
おちんちん遊びか？



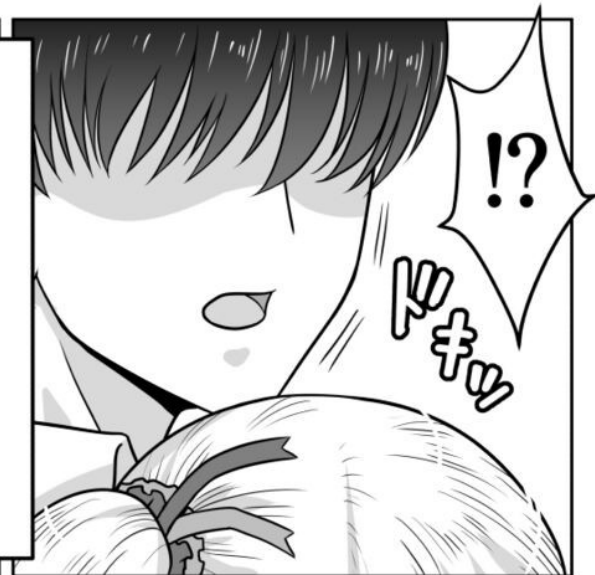
もう
付き合っていない？

アタシたちって…



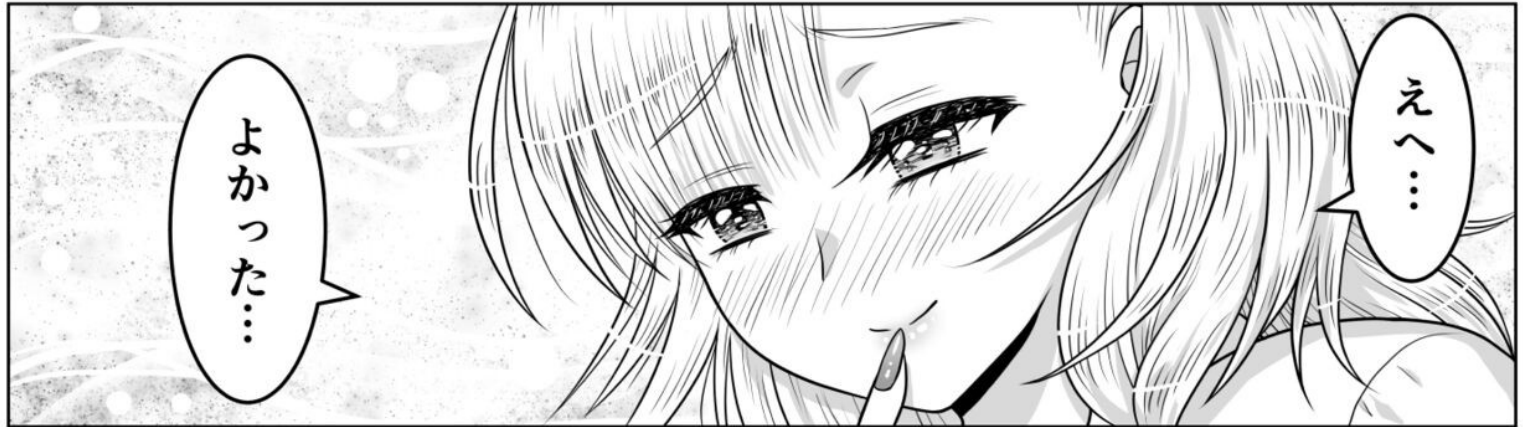
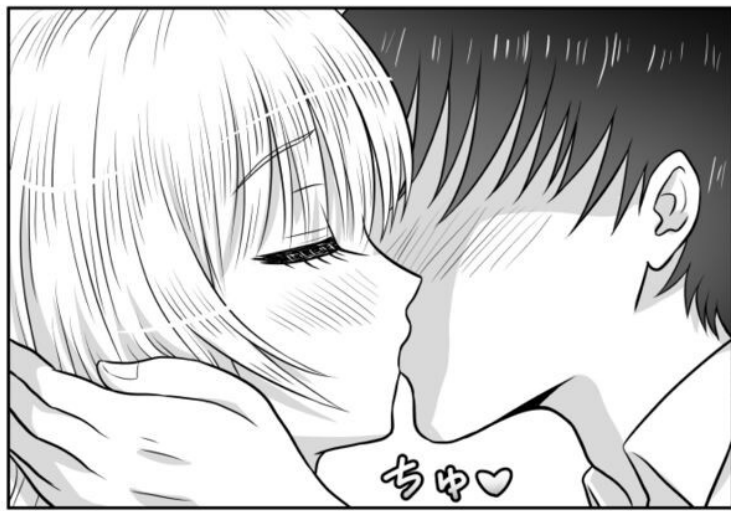
ぼ…僕も
ルルミさんと
付き合えたら
嬉しいです！

驚いたけど
すぐ理解した
ここは曖昧にしたら
ダメなところだ



!?

ドキッ





何をしてても許してくれ
そんな顔をして

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

もも

もも

おっぱいも
もみ放題で

もも

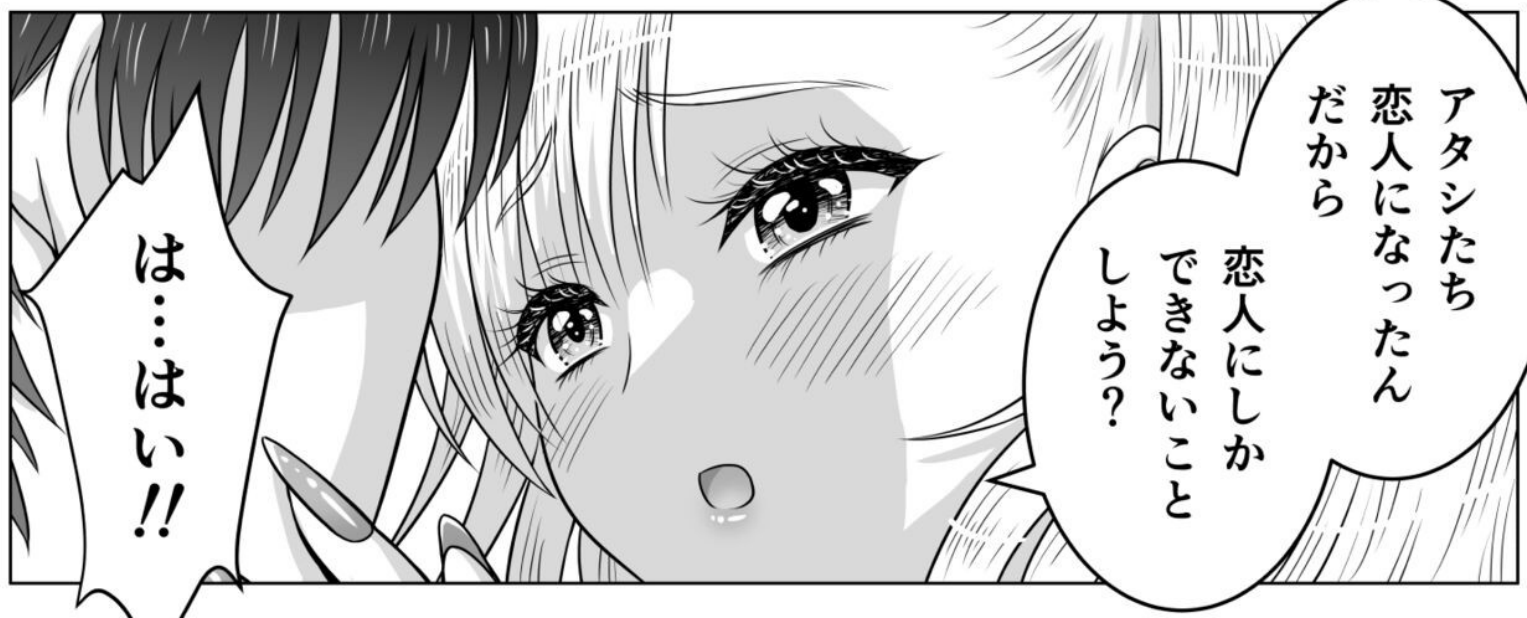


全部脱ぐと
さすがに
恥ずかしいね

.....

それは...
まあ

全裸のルルミさんが
僕の部屋に立っている
夢のような光景だ...



は...はい!!

恋人にしか
できないこと
でしょう?

アタシたち
恋人になったん
だから



頭が痺れるような
甘い快感…

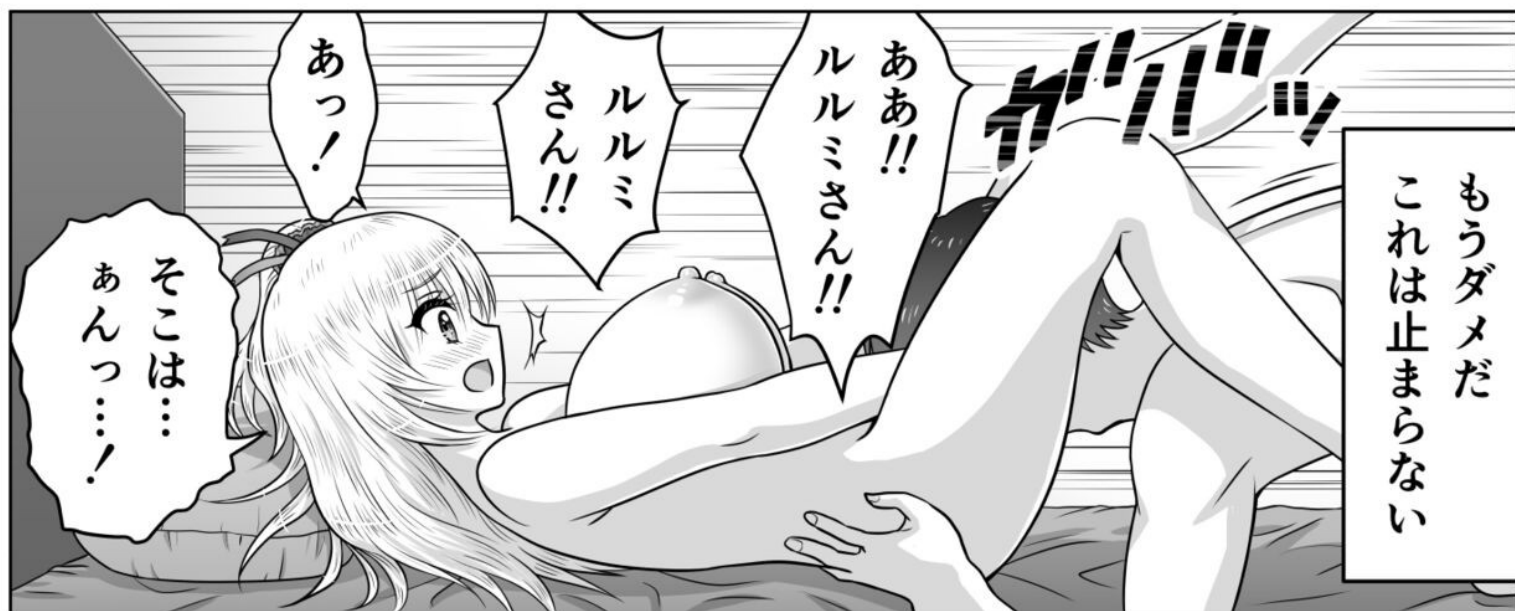


むさぼるように
舌を絡めあう



興奮しすぎて
股間が
痛いくらいだ

全校男子が憧れる
豊かなおっぱいを
好き放題…



そこは…
あんっ…!

もうダメだ
これは止まらない

初めて見る
ルルミさんの
おまんこは
とても綺麗で

ベロ

ベロ

ベロベロに
舐めまわし
たくなる

ビクッ

んっ!

ううっ!

もう我慢
できない

ルルミさん
挿れたいです

いいですか…?

いいよ

アンタの
おちんちんが
ここに挿入したら
どうなるんだろうって

くほあ

ずっと
考えてたんだから

凄い濡れてる…



アッ……!

あっ……

アッ……!



おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ



んっ!

おっ
おっ
おっ



おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ



うん……

ハア

ハア

聞いてたほど
痛くない

すごいこれ……

アタシの腔内なかが
アンタのおちんちんで
いっぱいだよお♡



は……挿入はいしちゃい
ました……
ルルミさんの
腔内なかに……

大丈夫ですか?

おっ
おっ
おっ

そんなこと
言われたら
もう止まらない

アッ!

ああ!
ルルミさん!!

可愛すぎます!!
ルルミさん!!

挿れ心地も
最高…!!!

ユシッ

あんっ!

んっ!!

すっ
ぽ

ぐ
ちゃ

ガッ

ぐ
ちゃ

すっ
ぽ

憧れのルルミさんと
今この瞬間
セックスしている…

あっ!

すごいよお!!

アンタの
おちんちん!!

アッ!!

興奮しすぎて
頭がおかしく
なりそうだ

ズン

あんっ!!

ズン

んんっ!

ぽ

ブルン

ブルン

アあッ！
すごッ！

ハアッ

激しい！

もっと突きたいです
ルルミさん！

ルルミさん！

ハアッ

フッ
サ

いいよ
もっとして！

もっとお！

腰を振るたびに
快感が駆け巡る

ハアッ

じゅっ
ちゅ

ぐっ
ぽ

ぐっ
ぽ

ぐっ
ぽ

もうひたすら
獣のように
突っ込み続けた



ヤバイ
これ止まらない！

あっ

あんっ！

終わるまで
腰が止まらない！

ハアッ

ハアッ

ルルミさん！
まずいです

もう出そう！

えっ？

出して
いいよ？

いいんですか！？

その瞬間
すべての理性が
吹き飛んだ

ズボッ

ズボッ
ズボッ



あああああ!!
出ます!!!
出てます!!!

きゅうっ……!

あっ……

あっ……

あ……

気持ちいい……!!!



あつ
そっか…

出るって
この腔内^{なか}に
出るってことか…

ハア…

はい…

やっぱり
マズかった
ですか…?

ハア…

ううん
いいよ

アンタなら

ハア…

ハア…

ルルミさん…

トロォ〜

ワッ





僕でよかったんですか？

うん！

アンタといると
なんか居心地よくてね

だんだん
気付いてきたんだ

あつアタシこの人の
こと好きなんだって

します！

大切に
してくれ
そうだし



ハア…

ハア…

ハア…

アタシってさ
結構モテるんだけど

今までピンとくる
人がいなかったんだ



えっと
じゃあそういう
わけで

これから
よろしくね！

はいっ！

おしまい

この度はお買い上げありがとうございました。
本作は2023年11月から2024年3月にかけて下記支援サイト
にて連載(先行公開)した内容をまとめたものになります。
応援していただいた皆様に改めてお礼を申し上げます。

[pixivFANBOX] <https://matsuri-juro.fanbox.cc/>
[Fantia] https://fantia.jp/matsuri_juro

アタシのおっばいを見たんだから アンタはおちんちんを見せなさいよ！

著者 祭十郎

2024年 4月

©Matsuri Juro 2024

- ◆この作品は18歳未満購入・閲覧禁止です。
- ◆この作品の著作権は著者に属します。
転載・再配布などの著作権侵害行為は禁止します。
- ◆この作品はフィクションです。
実在の人物・団体とは一切関係ありません。

@matsuri_juro

[Pixiv] <https://www.pixiv.net/users/69467041>

[X] https://twitter.com/matsuri_juro

お買い上げ
ありがとうございます♡

